

受験番号 () 氏名 ()

1 次の各問題の にあてはまる数または記号を、答のところに記入しなさい。答だけでよい。

(1) $17.5 \times \left(6\frac{3}{4} \div 3.15 - 0.32 \times 6\frac{2}{3} \right) = \text{$

(1)の答

(2) $169 \div \left\{ 23 - \left(4\frac{4}{7} - \text{$ $\right) \times 2\frac{4}{5} \right\} = 13$

(2)の答

(3) 連続した3つの奇数の和が195のとき、真ん中の奇数は ① です。また、連続した3つの奇数が2組あり、それぞれの組の和の合計が180、それぞれの組の和の差が54です。このとき、6つの奇数の中で最も大きい奇数は ② です。

(3)の答

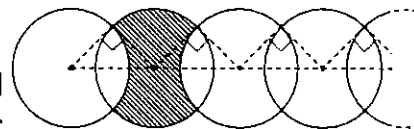
①	②
---	---

(4) 父、母、兄、妹の4人家族がいます。兄は妹より4歳年上です。現在、母の年齢は兄の年齢の3倍で、8年後には父の年齢は妹の年齢の3倍になります。父は母より ① 歳年上です。また、現在の4人の年齢を足すと96歳です。現在、母の年齢は ② 歳、妹の年齢は ③ 歳です。

(4)の答

①	②	③
---	---	---

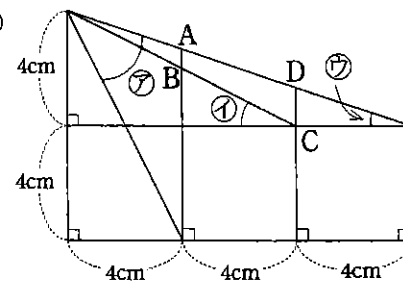
(5) 右の図のように、半径10cmの円形の紙を重ねていくことにします。このとき、斜線部分の面積は ① cm^2 です。また、このようにしてこの紙を15枚重ねてできる図形の面積は ② cm^2 です。ただし、円周率は3.14とします。



(5)の答

①	②
---	---

(6) 右の図において、角⑦の大きさは ① 度で、角④と角⑦の大きさの合計は ② 度です。また、台形ABCDの面積は ③ cm^2 です。

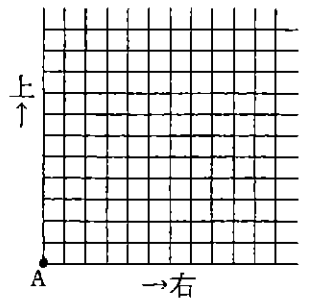


(6)の答

①	②	③
---	---	---

(7) 右の図のような方眼紙があり、点Pははじめ点Aにあります。さいころを振って、1または2の目が出るとPは右に一目盛り進み、3または4の目が出ると上に一目盛り進みます。5または6の目が出るとPは動きません。さいころを5回振って、5と6の目は1度も出なかったとき、Pが到達する可能性のある点は全部で ① 個あります。

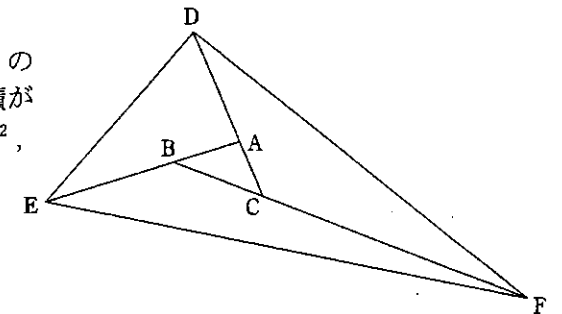
また、ふたたび点Aから始めて、さいころを10回振ったとき、Pが到達する可能性のある地点は全部で ② 個あります。



(7)の答

①	②
---	---

(8) 右の図において、ADはCAの2倍、BEはABの2倍、CFはBCの3倍です。三角形ADEの面積が 12cm^2 のとき、三角形ABCの面積は ① cm^2 、三角形DEFの面積は ② cm^2 です。



(8)の答

①	②
---	---

(9) A, B, C, Dの4人がアまたはイから答を1つ選ぶクイズをしました。クイズは5問で、得点は1問につき、正解のとき1点、不正解のとき0点です。4人の答と得点は次の表のようになりました。

	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	得点
A	ア	ア	イ	ア	ア	3
B	ア	ア	ア	イ	イ	2
C	ア	イ	ア	ア	ア	1
D	イ	ア	イ	ア	ア	?

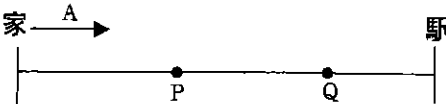
このとき、第1問の正解は ① で、第3問の正解は ② です。また、Dの得点は ③ 点です。

(9)の答

①	②	③
---	---	---

受験番号 () 氏名 ()

- 2 A君が家から駅まで行くのに自転車なら30分、走ると1時間10分、歩くと1時間45分かかります。家から駅までの間にP地点とQ地点があります。A君はある日、家からPまで自転車で行き、PからQまで11分間走り、Qから駅まで歩いたところ、家から駅まで47分かかりました。このとき、次の問いに答えなさい。



- ただし、自転車の速さ、走る速さ、歩く速さは、それぞれ一定とします。
(1) 自転車の速さ、走る速さ、歩く速さの比を、もっとも簡単な整数の比で表しなさい。
[式と計算]

答

自転車	走る	歩く

- (2) 自転車に乗っていたのは何分間ですか。
[式と計算]

答

- (3) PからQまでの距離はQから駅までの距離より75m長い。歩く速さは毎分何mですか。
[式と計算]

答

- 3 ある規則にしたがって分数が下のようにならんでいます。

$\frac{1}{7}, \frac{2}{8}, \frac{3}{9}, \frac{4}{10}, \frac{5}{11}, \frac{6}{12}, \frac{7}{13}, \dots$

- (1) 約分すると $\frac{29}{31}$ になる分数は何番目ですか。答だけでよい。

答

- (2) 上のようにならんだ分数の中から、それ以上約分できないものだけを取り出して、順にならべます。最初の10個を、下の答のらんにならんに書きなさい。答だけでよい。

答

- (3) (2)で並べた分数のうち、50番目の分数は何ですか。
[式と計算]

答

- (4) (2)で並べた分数のうち、1番目から50番目までの分数をすべてかけるといくつになりますか。
[式と計算]

答

- 4 A, B, C, Dの4人がはじめいくらかずつのお金を持っています。BはCよりも250円多く持っていました。まず、Aは所持金の $\frac{1}{7}$ をDに、Bは所持金の $\frac{1}{19}$ をCにあげました。次に、AはCに、BはDにそれぞれ残りの所持金の $\frac{1}{6}$ をあげました。さらに、AはBに、残りの所持金の $\frac{1}{5}$ をあげたところ、4人の所持金はすべて同じになりました。このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) AとBのはじめの所持金の比を、もっとも簡単な整数の比で表しなさい。
[式と計算]

答

A	B

- (2) Aのはじめの所持金は何円ですか。
[式と計算]

答

- (3) Dのはじめの所持金は何円ですか。
[式と計算]

答